

平成31年度

事業計画書

平成31年 4月 1日から

平成32年 3月31日まで

公益財団法人米沢上杉文化振興財団

目 次

2019(平成31)年度 公益財団法人米沢上杉文化振興財団の目標及び方針	・・・	1ページ
1. 必要な図書、記録、資料の収集、保管、調査研究、公開展示及び利用に関する事業	・・・	3ページ
(1) 上杉家・米沢藩ゆかりの資料及び郷土作家作品の収集と調査研究を体系的に進める		
(2) 地域の人々が郷土に誇りと愛着をもち、観光客に感動を呼ぶ魅力的な展示をめざす		
(3) 市民に必要なかつ有用な図書・記録等の収集に努め、広く利用に供し、相談に応じる		
(4) 文化財等の適正な保存・管理に努め、収蔵文化財総合データベースの充実を図る		
2. 教育・学術・文化施設との連携及び教育普及に関する事業	・・・	8ページ
(1) 家庭教育の向上や学校の学習活動の支援に力を注ぎ、子どもの読書活動を推進する		
(2) 日常的な地域学習の場となる多様なプログラムを用意し、学社連携を推進する		
(3) 生涯学習施設、また地域の交流拠点として、市民の学習と活動の機会を提供する		
(4) 市民の経験や知識及びボランティアと協働し、各施設のサービスの充実に努める		
3. 芸術・文化活動の創造、支援及び鑑賞機会の提供に関する事業	・・・	15ページ
(1) 優れた作品や舞台芸術に親しむ機会を提供し、芸術・文化活動の創造気運を高める		
(2) 充実した展示機能で新たな芸術活動にも対応し、市民の活動成果を広く公開する		
(3) 活動を楽しみ交流する場を提供し、次世代を担う子どもや若手芸術家を育成する		
(4) 能舞台を活用して伝統芸能の継承・普及につながるプログラムを展開する		
4. 歴史・芸術・文化活動拠点の運営に関する事業	・・・	18ページ
(1) 上杉家・米沢藩及び郷土作家研究の拠点として、広く開かれた施設をめざす		
(2) 市民の伝統文化活動を支援するとともに、歴史・芸術・文化の情報発信に努める		
(3) 利用者の声を集め反映する仕組みを整え、市民に開かれた運営をめざす		
(4) 上杉文化エリアの施設・団体と協力し、価値ある文化及び観光の交流拠点をめざす		
(5) まちづくりネットワークと連携し、にぎわいと活力あるまちづくりに寄与する		
5. 財団の適正な運営に関する事業	・・・	20ページ
(1) 公共施設であることを念頭に、経営基盤の安定と利用者及び収入の確保に努める		
(2) 施設個々の機能の向上と発揮に努めるとともに、施設相互の適切な連携を進める		
(3) 入場者と職員の安心・安全を第一に、施設設備の保守及び危機管理に取り組む		
(4) 複数の内部評価・外部評価に取り組み、運営やサービスの改善に努める		

2019(平成31)年度 公益財団法人米沢上杉文化振興財団の目標及び方針

基本理念 市民と協働し、地域文化の創造・振興拠点をめざす

目 標 郷土愛を育み、教育、学術及び文化を振興し、広域交流を促進する

運営方針

(1) 心豊かな潤いのある地域社会の創造に寄与する

貴重な地域資源を活かして市民の教育、学術及び文化の振興を図り、心豊かな潤いのある地域社会の創造に寄与するとともに、利用者の期待に応える運営に努め、魅力ある文化交流拠点をめざす。

(2) (1)を実現するため次の諸事業を推進する

- ① 必要な図書・記録・資料の収集、保管、調査研究、公開展示及び利用に関する事業
- ② 教育・学術・文化施設との連携及び教育普及に関する事業
- ③ 芸術・文化活動の創造、支援及び鑑賞機会の提供に関する事業
- ④ 歴史・芸術・文化活動拠点の運営等に関する事業

(3) 指定管理者として適正な運営に努める

米沢市上杉博物館と座の文化伝承館の指定管理者及び置賜文化ホールの運營業務補助者として、また、図書館、市民ギャラリー及びまちなか駐車場の指定管理者として、主管課と連携を密にし、関係法令と基本協定書等を遵守して適正な運営に努める。

また、職員はそれぞれの職務において協力して研鑽に努め、自らの知識能力、及びチームワーク力を高めて質の高いサービスを提供し、利用者の満足に応える施設をめざす。

事業活動方針

(1) 必要な図書・記録・資料の収集、保管、調査研究、公開展示及び利用に関する事業

- ア 上杉家・米沢藩ゆかりの資料及び郷土作家作品の収集と調査研究を体系的に進める。
- イ 地域の人々が郷土に誇りと愛着をもち、観光客に感動を呼ぶ魅力的な展示をめざす。
- ウ 市民に必要なかつ有用な図書・記録等の収集に努め、広く利用に供し、相談に応じる。
- エ 文化財等の適正な保存・管理に努め、収蔵文化財総合データベースの充実を図る。

(2) 教育・学術・文化施設との連携及び教育普及に関する事業

- ア 家庭教育の向上や学校の学習活動の支援に力を注ぎ、子どもの読書活動を推進する。
- イ 日常的な地域学習の場となる多様なプログラムを用意し、学社連携を推進する。
- ウ 生涯学習施設、また地域の交流拠点として、市民の学習と活動の機会を提供する。
- エ 市民の経験や知識及びボランティアと協働し、各施設のサービスの充実に努める。

(3) 芸術・文化活動の創造、支援及び鑑賞機会の提供に関する事業

- ア 優れた作品や舞台芸術に親しむ機会を提供し、芸術・文化活動の創造気運を高める。
- イ 充実した展示機能で新たな芸術活動にも対応し、市民の活動成果を広く公開する。

ウ 活動を楽しみ交流する場を提供し、次世代を担う子どもや若手芸術家を育成する。

エ 能舞台を活用して伝統芸能の継承・普及につながるプログラムを展開する。

(4) 歴史・芸術・文化活動拠点の運営に関する事業

ア 上杉家・米沢藩及び郷土作家研究の拠点として、広く開かれた施設をめざす。

イ 市民の伝統文化活動を支援するとともに、歴史・芸術・文化の情報発信に努める。

ウ 利用者の声を広く集める仕組みを整え、利用者の声を反映した運営をめざす。

エ 上杉文化エリアの施設・団体と協力し、価値ある文化及び観光の交流拠点をめざす。

オ まちづくりネットワークと連携し、にぎわいと活力あるまちづくりに寄与する。

(5) 財団の適正な運営に関する事業

ア 公共施設であることを念頭に、経営基盤の安定と利用者及び収入の確保に努める。

イ 施設個々の機能の向上と発揮に努めるとともに、施設相互の連携をさらに進める。

ウ 利用者と職員の安心・安全を第一に、施設設備の保守及び危機管理に取り組む。

エ 複数の内部評価・外部評価に真摯に取り組み、運営やサービスの改善に努める。

事業計画

1 必要な図書・記録・資料の収集、保管、調査研究、公開展示及び利用に関する事業

(1) 上杉家・米沢藩ゆかりの資料及び郷土作家作品の収集と調査研究を体系的に進める

①資料の収集・調査

米沢市上杉博物館資料収集基本方針及び市立米沢図書館資料収集方針に基づき、収蔵資料の充実を図る。また、収集した資料の調査研究を計画的に進めていく。

ア 米沢市上杉博物館

(ア) 歴史関連資料

寄託資料の概要調査、収集資料の目録作成と、米沢藩及び上杉家ゆかりの資料をはじめとした郷土ゆかりの資料の追跡・発掘調査を充実させる。

調査研究の推進にあたっては、市民、地域の博物館、教育機関、大学、研究機関等との連携、交流を図りながら、情報の集積や人的ネットワークを構築することに努める。

- ・ 展示予定資料の解説
- ・ 資料収集に関わる新資料の調査
- ・ 米沢藩及び上杉家ゆかりの資料の追跡・発掘
- ・ 上杉邦憲氏寄託資料概要調査
- ・ 受入済資料の整理、調査の充実

資料解説調査員	和田 節子 氏 (元米沢市史編さん専門員)
古文書等歴史資料整理員	植木 伸子 氏 (元米沢古文書研究会事務局)
資料調査員	小林 文雄 氏 (山形県立米沢女子短期大学教授)
	布施 賢治 氏 (山形県立米沢女子短期大学教授)

(イ) 美術関連資料

本年度以降に開催を計画している展覧会の出展予定資料及び郷土出身作家に関する調査を行う。また、調査員を委嘱して調査の幅を広げ、より多くの情報を収集し集積する。調査員には米沢出身の近現代作家の作品、所在などを中心に、一次資料の他二次資料の収集も依頼し、現在活躍中の郷土出身作家についても情報を収集する。

- ・ 郷土作家に関する調査
- ・ 上杉本洛中洛外図屏風に関する情報の収集と整理
- ・ 現存作家に関する情報収集
- ・ 作品収集のための調査

資料調査員	佐藤 繁 氏 (米沢市立窪田小学校校長)
	月本 寿彦 氏 (茅ヶ崎市美術館学芸員)

イ 市立米沢図書館

(ア) 郷土資料

郷土ゆかりの資料（図書、雑誌、古典籍、古文書等）を調査収集し、市民からのレファレンスに幅広く対応する。また郷土資料調査を行い、消失の進む資料、伝承、民俗の

記録を残すため報告書を刊行する。調査は昨年度まで14地区が終了しており、残す3地区のうち本年度は愛宕地区の調査を行う。

②次年度展覧会準備

平成32年度以降の企画展開催に向けた準備を進める。

- ・上杉謙信関連の調査、研究
- ・上杉鷹山関連の調査、研究
- ・上杉家旧蔵資料の調査
- ・武家文書の古文書学的調査
- ・伊達家関連資料調査
- ・上杉家・米沢藩能楽関連調査
- ・洛中洛外図に関する調査
- ・上杉家と徳川将軍家および関連大名の調査
- ・上杉家古写真調査
- ・土田文雄展にむけた調査
- ・上杉景勝関連の調査、研究
- ・直江兼続関連の調査、研究
- ・上杉家家臣団関連の調査、研究
- ・上杉家武器・武具関連調査
- ・米沢藩内医師とその交流調査
- ・米沢城に関する調査
- ・狩野派絵画に関する調査
- ・上杉家と関連公家の調査
- ・福王寺法林展にむけた調査
- ・今泉篤男展にむけた調査

(2) 地域の人々が郷土に誇りと愛着をもち、観光客に感動を呼ぶ魅力的な展示をめざす

①米沢市上杉博物館

ア 企画展示事業

年間5本の企画展を開催する。

展 示 期 間	展 覧 会 名	関 連 イ ベ ント
4月20日(土) ～ 6月9日(日) [開催日数50日間]	特別展 「上杉家 葵の姫のものがたり —徳川家三姉妹の守刀—」	トークイベント 5月11日(土) 講演会 5月19日(日) ギャラリートーク 4月20日(土) 4月27日(土) 6月1日(日)
6月15日(土) ～ 8月4日(日) [開催日数47日間]	企画展 「生誕100年 日本画家 福王寺法林～自然へのまなざし～」	ギャラリートーク 6月15日(土)
8月10日(土) ～ 9月16日(月祝) [開催日数37日間]	企画展 「木のおもしろワールド 杉山明博 造形の世界」	ギャラリートーク 8月10日(土)

9月21日(土) ～11月24日(日) [開催日数58日間]	特別展 「上杉家 武家の文化 公家の文化」(仮) 前期:9月21日(土)～10月20日(日) 後期:10月26日(土)～11月24日(日)	ギャラリートーク 9月21日(土) 10月26日(土)
1月11日(土) ～3月22日(日) [開催日数62日間]	企画展 「米沢藩 武士の仕事」(仮)	ギャラリートーク 1月11日(土) 2月1日(土) 3月7日(土)

イ 常設展示事業

上杉文華館では、「米沢初入部250年記念 上杉家文書にみる上杉鷹山」を年間テーマに、国宝上杉家文書を読み解く展示を6本の小テーマで開催する。コレクショントークはテーマ期間につき、上杉家文書に関するもの(A)と洛中洛外図屏風に関するもの(B)を二回行う。

テーマ期間	テーマ	コレクショントーク
3月26日(火) ～5月24日(金)	「鷹山の人柄」	A: 4月7日(日) B: 5月12日(日)
5月25日(土) ～7月23日(火)	「改革をめぐる」	A: 6月2日(日) B: 7月7日(日)
7月25日(木) ～9月22日(日)	「子女たちの旅立ち」	A: 8月4日(日) B: 9月1日(日)
9月23日(月祝) ～11月21日(木)	「敬老の心」	A: 10月6日(日) B: 11月4日(月祝)
11月22日(金) ～1月19日(日)	「老いと病」	A: 12月1日(日) B: 1月5日(日)
1月21日(火) ～3月20日(金祝)	「大名として」	A: 2月2日(日) B: 3月1日(日)

②市立米沢図書館

ア 先人顕彰コーナー

没後100年を迎える米沢藩最後の藩主・上杉茂憲を紹介する展示や、直江兼続の時代から続く米沢の漢詩文化を紹介する企画など、年間7本の展示を開催する。また、共催関係機関と連携しながら記念講演会なども開催する。

展示期間	展覧会名
3月29日(金) ～5月22日(水) [開催日数54日間]	「上杉茂憲展」 講演会:4月14日(日)、5月19日(日)

5月24日(金) ～ 6月26日(水) [開催日数34日間]	「有為会130年の歩み」(共催事業)
6月28日(金) ～ 8月21日(水) [開催日数54日間]	「よねざわ漢詩の世界」 前期:6月28日(金)～7月24日(水) 後期:7月26日(金)～8月21日(水)
8月23日(金) ～ 10月23日(水) [開催日数61日間]	「平田東助展」(共催事業) 講演会:8月31日(土)
10月25日(金) ～ 12月25日(水) [開催日数61日間]	「我妻碧宇展」
12月27日(金) ～ 2月26日(水) [開催日数60日間]	「写真で見る米沢のむかし展 パート2」
2月28日(金) ～ 3月25日(水) [開催日数27日間]	「図書館の絵図展6 江戸屋敷絵図」

イ 郷土資料コーナー

古典籍・古文書等の特色ある所蔵資料を紹介する。

展示期間	展示資料
4月1日(月) ～ 5月31日(金)	新収蔵資料
6月1日(土) ～ 7月31日(水)	奥羽編年史料
8月1日(木) ～ 9月30日(月)	古今和歌集(興譲館本コ23/24)
10月1日(火) ～ 11月30日(土)	里のしるべ
12月1日(日) ～ 1月31日(金)	新古今和歌集(林泉文庫264)
2月1日(土) ～ 3月31日(火)	判所改所御令状書(赤井家文書)

(3) 市民に必要なかつ有用な図書・記録等の収集に努め、広く利用に供し、相談に応じる

① 図書・記録等の収集

資料収集方針や選定基準、受入基準等に基づき、図書・記録の充実を図る。購入、寄贈及び寄託については、基準に則って良質な図書・記録の選書・選定に努める。米沢藩、上杉家関連

資料に関しては他地域への流失が少なくないことから、調査業務を重視し、これを本業務にも反映させる。

② 図書・記録等の提供

ア 市立米沢図書館

(ア) 図書及び図書館収蔵資料の貸出・閲覧、返却

収蔵する本、雑誌、新聞、CD・DVD、インターネット・データベース、マイクロフィルム資料について、利用者への貸出あるいは閲覧に供する。

また自動車文庫車「アタゴオル」を使用し、市内の公共施設、教育施設、福祉施設等に出向き、資料の貸出や返却を行う。月に70箇所程巡回することで、広く市民へ図書館のサービスを提供する。

(イ) 相互貸借

市民の求めに応じ他館との資料の相互貸借を円滑に行い、適正な貸出・返却作業を行う。また、他図書館からの求めに応じ、収蔵資料を提供する。

(ウ) 複写サービス

市民の求めに応じ、著作権の範囲内での資料の複写サービスを行う。また、遠隔地からの複写依頼にも対応する。

イ 米沢市上杉博物館

(ア) 情報ライブラリーの展開と更新

図書やデジタルコンテンツを配置・拡充して利用者にとともに、展示や館の活動に関する質問対応、地域学習の素材や方法論の提供などの参考業務を行う。

③ レファレンス

市立米沢図書館では、利用者の調査相談に、収蔵資料、インターネット情報などを用いて対応し、必要情報や資料の検索、提供を行う。また収蔵資料や展示資料等についての質問にも答え、特に郷土米沢に関する質問については特設のレファレンスカウンター（郷土資料調査相談）にて対応する。

(4) 文化財等の適正な保存・管理に努め、収蔵文化財総合データベースの充実を図る

① 収蔵・展示環境整備

資料や設備・機器の更新やメンテナンスを計画的に進め、より良い博物館展示環境の維持、図書館貴重書庫の保全に努める。また IPM（総合有害生物管理）活動を定着させ、館全体として収蔵・展示環境の向上を継続的に行う。

② 資料・図書の整理・保管

収蔵文化財総合データベース公開情報の充実を図るとともに整理の完了した資料の情報をリスト化し、ホームページ上で段階的に公開する。また、資料及び図書の点検・修理等を適切に行い、管理体制を整える。市立米沢図書館では1点ごとの資料データを集積して適正な排架に努め、利用者の利便性を考慮して随時整理を行う。また、特に郷土資料中の古典籍・古文書類の未整理資料及び昨年度受入資料を積極的に整理する。

【年間の主な作業】

- ア 資料管理公開データベースに関する作業
 - ・博物館及び図書館新規受入資料の登録（資料、図書、定期刊行物、AV資料、写真等）
 - ・博物館及び図書館新規受入資料のデジタル化（資料情報、写真）
 - ・マイクロフィルム資料のスキヤニング（郷土資料）
- イ 博物館及び図書館収蔵資料の解説、調査、公開
- ウ 収蔵資料及び図書の写真撮影
 - ・展覧会と連動した未撮影資料の撮影
- エ 博物館及び図書館未受入資料の受入作業（資料の受入有無確認、クリーニング、整理、登録、ラベリング収納）
 - ・丸山家伝来雲井龍雄関係資料の整理（継続）
 - ・古川家伝来資料の整理（継続）
 - ・高坂家文書の整理（継続）
 - ・浜田浜雄関連資料の整理（継続）
 - ・椿貞雄関連資料の整理（継続）
 - ・高瀬捷三関連資料の整理（継続）
 - ・地域史料の整理（継続）
 - ・高梨源五郎家伝来資料の整理（継続）
 - ・山田家文書の整理（継続）
 - ・清水大典資料の整理（継続）
 - ・桜井祐一関連資料の整理（継続）
 - ・後藤克芳関連資料の整理（継続）
 - ・郷土資料未整理文書の仕分、整理
 - ・展覧会と連動した資料調査
- オ 博物館及び図書館新規寄贈・寄託資料の調査・受入（継続）
- カ 収蔵資料及び図書の修理・点検
 - ・収蔵資料の修理
 - ・図書館蔵書点検… 本 館 : 2月 1日（土）～ 2月 7日（金）
自動車文庫車 : 10月15日（月）～10月16日（火）
- キ 資料の燻蒸、収蔵スペースのクリーニング、IPMと環境管理
- ク 蔵書の除籍と廃棄
 - ・亡失や汚破損等で不要となった図書の除籍と廃棄

2 教育・学術・文化施設との連携及び教育普及に関する事業

（1）家庭教育の向上や学校の学習活動の支援に力を注ぎ、子どもの読書活動を推進する

①子どもの読書活動の推進

市立米沢図書館では、「米沢市子ども読書活動推進計画」に基づき、読み聞かせ等をはじめとした、子どもの読書活動の推進に関する事業や、蔵書を活用した事業を行う。本に触れる楽しさを感じてもらい、本や図書館、読書への興味を持ってもらう。子どもたちの読書活動の推進に向け「ナセBA読書スタンプラリー」を実施し、図書館のより一層の利用促進につなげる。また「おはなしかい」では、英語での読み聞かせを年に2～4回実施する。

ア 読書活動推進事業

開催時期	企画名	対象
5月13日(月) 5月20日(月) 6月3日(月) 6月10日(月)	アタゴオルによる絵本読み聞かせ	幼児
配本：4月15日(月) 7月8日(月) 10月21日(月) 1月13日(月祝) 回収：6月24日(月) 9月30日(月) 12月9日(月) 3月9日(月)	小学校巡回文庫	市内小学校 全18校
毎月金曜日1～2回 「7か月児健康教室」実施時	ブックスタート	7か月児 その保護者
毎月第2土曜日 毎月第3土曜日 毎月第4金曜日	おはなしかい 読み聞かせ：図書館職員・サポーター 毎月第4金曜日はサークル夢空間	乳幼児～
12月11日(水) ～12月15日(日)	平成31年度 米沢市小中学生読書感想画展 作品受付：11月上旬から開始 審査会：11月下旬	市内小中学生
時期未定	ナセBA読書スタンプラリー	市内小学生

イ 2019夏休みこども図書館フェア

開催時期	企画内容	対象
7月25日(木) ～8月4日(日)	バックヤードツアー おはなしかい ワークショップ 特集コーナー(夏休みの宿題に関するもの) ぬいぐるみのおとまりかい ほか	幼児～小学生

(2) 日常的な地域学習の場となる多様なプログラムを用意し、学社連携を推進する

①地域・学校との連携

ア 学校の利用

ミュージアムスクールや出前授業等、博物館及び図書館を活用した学習機会の提供と支援、学校図書館との連携を行う。

イ 職業体験の受け入れ

市内の中学校がキャリア教育の一環として行う「米沢チャレンジウィーク」やインターンシップ等で生徒、学生の受け入れを行う。

ウ 博物館無料観覧証の発行と利用促進

市内中学校、置賜地区内高等学校の生徒向けに、展示室へ無料で入館できる「観覧証」を配布し、自発的学習の場としての博物館利用を促す。

②体験学習プログラムの展開

米沢市上杉博物館において、地域の歴史・文化や民俗・風習、美術・工芸、伝統的な手わざの理解とそれらの継承・普及のための体験プログラムを提供する。また、歴史や美術の充実した体験学習を通して、子どもたちの個性や地域の文化を尊重し合う意識を育て、「生きる力」や「想像力」を育む事業を展開する。

ア 常設プレイショップの展開

季節企画では季節の風物を置賜の民俗風習と絡めながら紹介する。郷土玩具やひな人形の展示も組み込んでいく。造形体験では、さまざまな素材や技法に触れることのできる幅広いプログラムを提供する。

期間	季節企画	造形体験プログラム
～ 4月25日(木)	日本の伝統色①	クレヨン×水彩絵の具 はじく+しみこむ ＝バチックあそび
4月26日(金) ～ 5月21日(火)	端午の節句 ※五月人形展示	
5月24日(金) ～ 6月27日(木)	日本の伝統色②	みんなでエイリアンプラネットをつくろう ～宇宙のなかまたち～
6月28日(金) ～ 7月23日(火)	七夕	
7月26日(金) ～ 8月22日(木)	盂蘭盆会	折ってぼたぼた 紙のおりぞめ
8月23日(金) ～ 9月24日(火)	重陽の節句	
9月27日(金) ～10月22日(火)	お月見	紙ねんどでつくる 秋の和菓子
10月25日(金) ～11月26日(火)	七五三	

11月29日(金) ～12月24日(火)	冬至・お年とり	型絵染のカードづくり/ お正月あそび
1月2日(木) ～1月22日(水)	お正月・小正月 ※郷土玩具と干支の展示	
1月24日(金) ～2月27日(木)	節分	ぬってキコキコひっかき絵
2月28日(金) ～3月25日(木祝)	桃の節句・雛人形 ※ひな人形展示	

イ ワークショップの開催

五感や身体感覚を使ったプログラム、また、博物館の特徴を活かしたプログラムの開発と展開を行う。

(ア) 募集制プログラム

a やってみよう・感じてみよう

“つくる”ことをテーマに参加者の発想をかたちにするワークショップ。

開催日	企画名	対象
7月13日(日)	あわブクブクアート	未就学児
8月24日(土)	切り絵のステンドグラス	小学生
9月7日(土)	紙コップタワーアート大作戦!	小中学生親子
9月14日(土)	スポットでにじみ絵あそび	未就学児
10月6日(日)	展覧会ポスターのペーパーバッグづくり	高校生以上
10月19日(土)	粘土でつくるキャンドルホルダー	小中学生
12月15日(日)	紋切りで暮らしを彩るものづくり ～美しく季節を楽しむ～	中学生以上

b 夏のものづくりルーム シーズン9

開催日	企画名	対象
7月28日(日)	樹脂絵具でつくるステンドグラス	高校生以上
8月3日(土)	チルドレンキュレーターズプレゼンツ ペーパー芯のお花のリース ～すずしいいとすずしい音色～	年小・年中児
8月3日(土)	チルドレンキュレーターズプレゼンツ 紙と糸 ～和綴じの知恵 ～すてきな型染和紙をつかって～	小学4年生以上

8月10日(土)	杉山明博の木でつくろう	小中学生
8月11日(日)	杉山里えの布でつくろう	小学生以上

c 鑑賞の時間 ナイトツアーようこそ夜の博物館へ

夜の博物館でゆっくり作品を鑑賞できるワークショップ。

開催日	企画名	対象
7月5日(金)	福王寺法林の世界～自然へのまなざし～	どなたでも
11月15日(金)	洛中洛外図をたのしむ with 洛洛案内人	どなたでも

d 体感ミュージアム

博物館の裏側を知ってもらい、その存在価値を理解してもらおうワークショップ。

開催日	企画名	対象
4月20日(土) 5月12日(土) 6月29日(土) 7月27日(土) 8月3日(日) 9月7日(土) 10月19日(土) 11月3日(日) 12月8日(土) 1月25日(土) 2月22日(土) 3月24日(火)	きみもチルドレンキュレーターズ 学芸員になろう15 (全12回程度の連続事業)	小学4年生 ～ 高校生
11月3日(日)	だれもしらない博物館 ～博物館バックヤードツアー～	どなたでも

e アウトリーチ

学童保育やPTA親子事業への出前ワークショップの展開

(イ) 自由参加制プログラム

開催日	企画名
5月5日(日祝)	かわりかぶとに挑戦!
6月16日(日)	笹巻っていいなあ・・・

7月 6日 (土)	むかしむかしを聞こう 語り：米沢とんとむかしの会 (伝国の杜事業協力者)
8月 31日 (土)	
9月 28日 (土)	
10月 12日 (土)	
11月 10日 (日)	

(3) 生涯学習施設また地域の交流拠点として、市民の学習と活動の機会を提供する

①多様な学びを提供する事業

市立米沢図書館では、図書や郷土資料を題材に市民に多様な学びを提供し、楽しく親しんでもらえる事業を展開する。さらに、図書館各事業や季節行事、社会情勢に合わせた関連書籍を取り上げる特集コーナーを設ける。「読書会」においては、英語多読の手法を身に着ける「ナセBA英語多読サロン」や参加者が本の感想を話し合う「ナセBA読書会」等を実施し、利用者が一層本に親しみ本を介して交流することができる場を提供する。

ア 講座の開催

開催日	企画名	対象
10月 8日 (火) 10月 15日 (火) 10月 22日 (火祝)	第34回 ふるさと歴史講座	どなたでも (募集制・40名)
11月 16日 (土) 11月 23日 (土祝) 11月 30日 (土)	第30回 古典文学講座	どなたでも (募集制・40名)
2月 16日 (日) 2月 23日 (日祝)	第63回 古文書解読講座	どなたでも (募集制・30名)

イ 2019読書週間図書館フェア

開催日	企画内容
10月 24日 (木) ～11月 9日 (土)	バックヤード(書庫)ツアー ワークショップ 大人のためのよみきかせ 本と雑誌のリサイクル市 雑誌の付録抽選会 ほか

ウ 読書会

開催日	企画内容
8月以降 毎月1回	ナセBA英語多読サロン
7月 (予定)	英語多読講座
10月、1月 各1回	英語多読体験会

5月 4日(土) 7月、9月、11月、1月 各1回	ナセBA読書会
------------------------------	---------

②講演会、展示解説

展示内容の理解深化を目的に、講演会や展示に関するトークイベントを開催する。

ア 講演会

米沢市上杉博物館、市立米沢図書館の展示等事業にあわせた講演会等をその会期中に開催する。

博物館2回、図書館2回(別掲)

イ 展示解説

米沢市上杉博物館企画展等にあわせてその会期中に開催する。

ギャラリートーク年間10回程度、コレクショントーク年間12回程度実施(別掲)

③レファレンス

米沢市上杉博物館では、収蔵資料、展覧会関連資料、置賜地域の歴史・芸術などにかかわる質問に答えることを通して、市民の学習と活動の機会を提供する。

④出版

以下の出版物を発行し、施設の事業活動を協力者や市民に対して紹介する。

伝国の杜だより(年間2回)

図書館だより(年間4回)

教育普及事業ミュージエデュウだより(年間4回)

米沢市上杉博物館 平成30年度 年報

平成31年度 市立米沢図書館 概要

⑤施設貸与事業(収益等事業2)

米沢市から指定管理者として受託する施設を、貸出基準に照らし適正に貸与する。

ア 米沢市上杉博物館会議室

利用者のニーズを把握し、設置者である米沢市と連携して利用促進に努める。

イ 米沢市まちなか駐車場

4年目の管理業務となるので、前年度までの反省や課題を踏まえ、引き続き米沢市や関係団体と密に連携して適正かつ円滑な管理運営に努める。

(4) 市民の経験や知識及びボランティアと協働し、各施設のサービスの充実に努める

①サポーター運営事業

市民の活力を取り入れた活発な事業運営を目指し、一般市民がそれぞれの興味・関心・得意分野を活かして当財団事業に参加することができるようボランティア活動の場を提供する。

ボランティア活動を行う市民は「サポーター」と呼び、伝国の杜を活動の場とするサポーターを「伝国の杜サポーター」、図書館を活動の場とするサポーターを「市立米沢図書館サポーター」とする。また、活動を通してサポーターと職員が協働し相互に成長することをねらう。

ア 伝国の杜サポーター

米沢市上杉博物館の洛中洛外図案内人等の資料解説や教育普及活動、図書整理、置賜文化ホールの諸事業における客席案内やもぎり、広報物発送補助等を行う。

イ 市立米沢図書館サポーター

一般部門では、書架の整理、図書修理、読み聞かせやワークショップをはじめとしたイベントの補助、郷土資料の解説やデジタル化などの活動を行う。ティーンズ部門では高校生メンバーがミーティングを行い、利用促進や選書に関する意見をまとめる活動等を行う。

②伝国の杜ファンクラブ事業（収益等事業3）

米沢市上杉博物館と置賜文化ホールの利用や活用、財団事業への参加を通し、会員への興味・関心に応えるとともに、相互の親睦を図り、伝国の杜を支えるコアを育てる。会員の定着をめざし、会員数350人を目標とする。今年度も継続してPRと特典の見直し等を行っていく。

【具体的事業】

- ・会報及び自主事業情報の送付
- ・米沢市上杉博物館常設展示室・企画展示室への入館特典の付与
- ・置賜文化ホール主催事業のチケット先行予約・割引販売（一部公演除く）
- ・ミュージアムショップにて展覧会図録・オリジナル商品の10%割引販売
- ・募集制ワークショップへの無料参加（会員1名につき1回。一部プログラム除く）
- ・ファンクラブ会員限定事業の開催

3 芸術・文化活動の創造、支援及び鑑賞機会の提供に関する事業

(1) 優れた作品や舞台芸術に親しむ機会を提供し、芸術・文化活動の創造気運を高める

①展示事業

よねざわ市民ギャラリーでは、米沢市上杉博物館や市内の芸術文化団体と連携しながら展示を行い、市民の芸術鑑賞の機会を広げる。また、米沢出身の日本画家である福王寺法林に師事し現在も活躍中の福王寺一彦、荒木みどりこの作品展を開催し、中心市街地のにぎわい創出につなげる。

展示期間	展覧会名
4月16日（火） ～ 4月28日（日） [開催日数13日間]	「アーツよねざわ・平成ふあいなる」展
6月19日（水） ～ 6月30日（日） [開催日数12日間]	「日本画家 福王寺一彦・荒木みどりこの世界」展
3月14日（土） ～ 3月22日（日） [開催日数9日間]	「ARTS MEET OKITAMA 2020 & A.M.O.2019 大賞展」

4月26日(金) ～ 7月24日(水)	オープンギャラリー展示 米沢市上杉博物館蔵の美術作品を5～6点ずつ展示
7月26日(金) ～ 10月23日(水)	
10月25日(金) ～ 4月22日(水)	

②芸術文化活動の支援・鑑賞事業

ア 置賜文化ホール

(ア) 米沢市共催事業

良質で低廉な有料公演を開催するとともに、市民の文化活動を支援し、米沢市を中心とする地域住民の文化的水準の向上に資する事業を、米沢市の負担金により実施する。

開催日	公演名
8月21日(水)	山形交響楽団ユアタウンコンサート2019米沢公演
10月13日(日)	吹奏楽の日コンサート2019
11月9日(土)	ボニージャックス&ベイビー・ブー
12月7日(土)	聖夜のトランペット Christmas Special Concert
1月30日(木)	カナディアン・ブラス 2020
2月16日(日)	三遊亭好楽・林家たい平二人会
通年事業	よねざわ市民ミュージカル育成事業

(イ) 山形県補助事業(地域文化力育成事業)

山形県からの補助金により公演を実施する。置賜地域の文化拠点施設として、アマチュア活動団体等に活躍・研鑽の場を提供することにより、地域の文化向上とホールの賑わい創出を図る。

開催日	公演名
9月22日(日)	楽器体験ワークショップ「弦×管×打」
3月8日(日)	伝国の杜オーケストラ「ファミリーコンサート」
時期未定(2回開催)	カフェ・ライブ・シリーズ

イ 米沢市市民文化会館

芸術、文化、レクリエーションに触れる機会を提供し、その普及振興を図り、米沢市を中心とする地域住民の文化的水準の向上に資する公演を、米沢市の負担金により開催する。

開催日	公演名
4月27日(土)	米沢市市民文化会館 開館50周年記念「第1回みっぺFES!」
時期未定	米沢市市民文化会館にぎわいづくり支援事業「DRUM TAO」

ウ よねざわ市民ギャラリー

図書館休館日の毎月第4木曜日にギャラリー展示室内でのコンサートを開催し、中心市街地の活性化につなげる。

開催日	公演名
4月25日(木)	第20回ウッディコンサート「フォルクローレ ～アンデスの調べ～」
5月23日(木)	第21回ウッディコンサート「木管五重奏」
7月25日(木)	第22回ウッディコンサート「小学生と高校生による合唱」
8月22日(木)	第23回ウッディコンサート「フルート演奏」
9月26日(木)	第24回ウッディコンサート「女声コーラス」
10月24日(木)	第25回ウッディコンサート「ユーフォニアムアンサンブル」
11月28日(木)	第26回ウッディコンサート「内容未定」

③収蔵資料の貸出

年に数回米沢市上杉博物館収蔵の美術作品を市内の学校や公共施設に貸し出し、博物館以外で市民が実物資料に触れる心豊かな文化体験の機会をつくる。

(2) 充実した展示機能で新たな芸術活動にも対応し、市民の活動成果を広く公開する

①展示事業

よねざわ市民ギャラリーにおいて、置賜文化フォーラムや米沢市芸術文化協会と共同で、置賜地域出身または置賜を拠点とする作家、もしくは作家志望者から幅広く作品を公募する展覧会を開催する。合わせて前年度同企画での大賞受賞者の個展を開催する。

「ARTS MEET OKITAMA 2020 & A.M.O.2019 大賞展」(再掲)

②芸術文化活動の支援・鑑賞事業

よねざわ市民ギャラリーにおいて、「ウッディコンサート」(再掲)7回の公演のうちアマチュア演奏を5回以上行う。

(3) 活動を楽しみ交流する場を提供し、次世代を担う子どもや若手芸術家を育成する

市民や、置賜地方・東北地方を拠点とするアーティストの芸術文化活動を支援するため、置賜文化ホールの米沢市共催事業としてよねざわ市民ミュージカル育成事業(再掲)を、山形県補助事業として伝国の杜オーケストラ「ファミリーコンサート」(再掲)を、よねざわ市民ギャラリーにおいて「ウッディコンサート」(再掲)を行う。

(4) 能舞台を活用して伝統芸能の継承・普及につながるプログラムを展開する

①能楽関係事業

置賜文化ホールにおいて、山形県補助事業(能楽関係事業)として実施する。移動式能舞台を活かして利用者が能楽に触れる機会を提供し、伝統芸能の普及に努める。

また小学生以上を対象にする「こども狂言クラブ」より低年齢層の新規参加者を受け入れるため、公開ワークショップを開催し、能楽に親しみをもってもらうことをめざす。

開 催 日	公 演 名 ・ 事 業 名
9月 8日 (日)	山形県能楽の祭典
通年事業	伝国の杜こども狂言クラブの運営 ・稽古 計12回以上 ・発表 計4回以上 上杉まつり「さくらに舞う会」 山形県能楽の祭典 上杉雪灯籠まつり「雪に舞う集い」 伝国の杜こども狂言クラブ春休み発表会

4 歴史・芸術・文化活動拠点の運営に関する事業

(1) 上杉家・米沢藩及び郷土作家研究の拠点として、広く開かれた施設をめざす

①特別利用・掲載利用・資料貸与

条例等の基準に照らし、適正に許諾・貸出を行う。

②ミュージアムショップ事業（収益等事業1）

財団運営及び事業展開の安定化の財源とするため、また利用者サービスの充実のため、米沢市上杉博物館のミュージアムショップ及び Web ショップにおいて、博物館で編集・発行する展覧会図録をはじめ自主製作商品や受託商品の物品販売を行う。

具体的事業は次のとおり。

- ・展覧会や季節行事ごとに特集を組み、関連図録や商品を販売する。また、開催中の展覧会図録は元より終了している展覧会の図録も積極的に紹介し、販売促進と共に利用者の利便性向上を図る。さらに、展覧会等に合わせて受託商品を充実させる。
- ・来館者のニーズを把握し、地元企業などとの連携を図りながら新規商品を開発する。
- ・時宜に応じた魅力ある陳列を行う。
- ・より広範囲での商品販売のため Web ショップを展開する。より利用しやすく、親しみやすいものとなるよう整備を進める。
- ・Web 媒体や広告・情報媒体を活用し、商品の PR を行う。
- ・市立米沢図書館と連携し、博物館の展覧会図録や図書館の出版物を相互に販売する。

(2) 市民の伝統文化活動を支援するとともに、歴史・芸術・文化の情報発信に努める

①芸術文化活動のための施設貸与

ア よねざわ市民ギャラリー

さまざまな分野の作品に合わせた展示が可能である施設の機能を生かし、市民の多様な

芸術文化活動の成果発表の場として、また、活気あふれる市民の芸術文化活動の拠点として施設を貸与し、地域の芸術文化の振興に寄与する。

実施4年目となるため、引き続き米沢市や関係団体と密に連携しながら適正かつ円滑な管理運営に努める。

イ 米沢市座の文化伝承館

市民が自主的に伝統的な文化活動を推進しその伝承を図ることを目的に、和室の機能を生かした「座って行く日本文化」の一つの活動拠点として施設を貸与し、地域の芸術文化の振興に寄与する。また、施設や設備の更新を計画的に進める。

②米沢市座の文化伝承館自主事業の実施

ア 展示事業

蔵の特性を活用した事業を行い、地域の歴史・文化の紹介に努める。

展 示 期 間	展 覧 会 名
6月 1日(土) ～ 6月16日(日) [開催日数：14日間]	「米沢の絵葉書」(仮)

イ 伝統文化普及事業

日本の伝統文化のひとつである茶道に気軽に親しむことのできる機会として、米沢茶道連合会の協力を得て市民茶会を開催する。

開 催 日	企 画 名
6月16日(日)	第29回 市民茶会

ウ 芸術文化活動のための支援・鑑賞事業

蔵の特性を活用した無料公演事業を開催する。

開 催 日	公 演 名
7月(予定)	蔵で楽しむ リコーダーコンサート

(3) 利用者の声を集め反映する仕組みを整え、市民に開かれた運営をめざす

内部・外部評価や事業ごとの来館者アンケートを実施し、その結果を分析・検討し、業務に反映することで事業やサービスの改善を図る。

(4) 上杉文化エリアの施設・団体と協力し、価値ある文化及び観光の交流拠点をめざす

上杉文化エリア懇話会へ参加し、米沢市歴史文化拠点地区内にある諸団体と交流、情報交換を行いながら連携し、本市が誇る歴史、文化、観光の交流拠点となるべく活動を行う。米沢四季のまつりへも積極的に参加する。

(5) まちづくりネットワークと連携し、にぎわいと活力あるまちづくりに寄与する

米沢市中心市街地活性化協議会等と連携してにぎわいづくりに貢献する。
ナセ BA の「こまや」を活用し、地元商店街や各種団体との共催事業を行う。

5 財団の適正な運営に関する事業

(1) 公共施設であることを念頭に、経営基盤の安定と利用者及び収入の確保に努める。

定款や諸規定に基づき、適正な管理運営を行う。また、事業告知、施設利用の増進のために、以下の活動を行う。

- ・事業告知チラシ、ポスター等の作成と発送
- ・事業告知看板の作成
- ・ホームページやブログ、フェイスブック、ツイッター等の Web 媒体の更新と充実
- ・広報よねざわへの事業告知及び図書館の新书推荐等の掲載
- ・中高生の「無料観覧証」や無料入館日、開館延長等の関係機関への案内と周知

(2) 施設個々の機能の向上と発揮に努めるとともに、施設相互の適切な連携を進める

①施設間での連携

伝国の杜とナセ BA 各施設の使命や役割を果たしながら、両施設を行き来できるような事業を検討する。また各事業を紹介するため、施設相互でのポスター掲示や特集コーナーの設置を行う。さらに、各施設と関係機関との連携強化や情報交換を積極的に行い、十分な市民サービスを提供できるように努める。

②置賜地区公共図書館（室）連絡協議会への加盟

置賜地区3市5町の公共図書館（室）と置賜教育事務所が加盟する協議会では市立米沢図書館が事務局となり、年3回の会議を実施する。

研修会や視察に参加するほか、発行物『おすすめ絵本～おきたまセレクション～』の作成を行い、絵本のリストを教育施設や公共施設などへ配布する。

(3) 利用者と職員の安心・安全を第一に、施設設備の保守及び危機管理に取り組む

①危機管理に関すること

地震や火事を想定した避難訓練を、伝国の杜、ナセ BA 及び米沢市座の文化伝承館でそれぞれ年2回実施し、災害時に施設利用者の安全を確保できるよう備える。さらに、施設の防火管理上必要な業務を学ぶため、防火管理者講習会等へ派遣する。

各施設に設置された AED を職員が正しく使用できるよう救急救命講習へ定期的に参加し、救急に関する職員の意識の向上を図るとともに緊急時に適切な救命処置を施せるよう技能を学ぶ。また、危機管理に関するマニュアルの整備と内部周知を進める。

②職員の労働環境に関すること

社会情勢の変化やワーク・ライフ・バランスの視点を踏まえながら、職員の適正な労働環境を整える。また「働き方改革」関連法の施行に伴い、国が示す実施時期や法令内容を遵守し、対応や諸規程の整備を進める。

(4) 複数の内部評価・外部評価に取り組み、運営やサービスの改善に努める

①財団内部評価

財団の目標及び運営方針に則った、財団の運営と展覧会や公演ごとの内部評価シートを作成して自己評価に取り組み、財団の運営と業務の改善を図る。

②運営協議会

米沢市上杉博物館と置賜文化ホールで実施する事業等の適切な運営を図るため、伝国の杜運営協議会を年2回開催する。また、市立米沢図書館とよねざわ市民ギャラリーについてもナセ BA 運営協議会を設置し、年2回の会議を開催する。

③スタッフ育成

新規採用者研修や職員の定期的な勉強会や研修会を実施するとともに、外部研修等へも積極的に派遣し、スタッフとしての資質向上を目指す。